

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



2016/10/24

まず、脳を鍛えるには、できる
だけ多くの「経験」や「体験」を
積み重ねなければなりません。
環境の変化に対応した脳は、個性的にはる。

参加人数21名
大人2名子ども19名

種目
缶詰み競争
ボール投げ競争
ボール運び競争

平成28年10月24日

柏井保育園

子ども遊び
リンピック

鉛筆を使って
日記を書く。
パソコンの普及により、
それ以上に文字を書く
機会が減り、
書く力が衰えている。
確かに文字を書く
大変に入力するに
は、パソコンのほうが圧
倒的に有利で、
しかし、脳への刺激と
いう点では、パソコン
は手書きには遠く
及びません。
パソコンを使っている
ときも、脳もフル稼
働して、
手動系は限られて
おり、
運動系は
初めから衰えてしまっ
たこと、
この境は筆記具にありま



2016/10/24

距離が遠いから音が聞こえ



2016/10/24

▲メダルの感動。子ども達は満足です。

階段を一段とぼ
して下りてみる。
私は昔埃エレベーターや
エスカレーターを極力
使わず階段を使いま
わけておきます。
そのわけは、マンションは
4階に住んでおきま
す。エレベーターはありま
せん。運動と健康を
保ちたい。何回も下
ります。下りながら変化を
つけることで足腰を動
やすことで鍛えらるか
らです。
「後にはいはいは体のラン
スを取り方を体験する
ためです。
足を踏み外したりラン
スを崩したりすると、
思わぬ事故に発展します。



2016/10/24

ボールを落とす競争



2016/10/24

保育園らしい種目です。